

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市外ヶ岡交流拠点施設 (道の駅「開国下田みなと」)	番号	15
--------	----------	--------------------------------	----	----

平成 19 年度

# 施設評価調書

施設の名称.....外ヶ岡 交流拠点

所管担当課.....観 光 交 流 課

平成 19 年 11 月

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市外ヶ岡交流拠点施設 (道の駅「開国下田みなと」)	番号	15
--------	----------	--------------------------------	----	----

## 施設の概要

1 施設名	下田市外ヶ岡交流拠点施設 (道の駅「開国下田みなと」)		2 担当課 担当係	観光交流課 交流館係																																																						
3 所在地	下田市外ヶ岡1番地の1		4 設置年月	平成12年8月1日																																																						
5 総合計画の 位置付け	人財づくり	自ら学ぶ歴史のまちづくり	生涯教育																																																							
	施策体系	郷土文化の保全と継承	交流拠点施設の整備・充実																																																							
	主要事業	交流拠点施設管理運営事業	道の駅開国下田みなとの運営 自主事業の展開																																																							
6 設置目的	下田市の歴史や文化の調査、研究、学習活動等を通じ、郷土を担う人材を育成する。 地域固有の資源を活用して豊かな地域づくりを図る。																																																									
7 設置根拠	下田市外ヶ岡交流拠点施設条例																																																									
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 14,700 m <sup>2</sup> 建築面積 3,621.87 m <sup>2</sup> 延床面積 5,649.38 m <sup>2</sup> 鉄筋鉄骨コンクリート4階 歴史の交流館(特別展示室、会議室1・2・3、常設展示室、特別収蔵庫、 収蔵庫、市史編纂室) 海の交流館(市民ギャラリー1・2・3、売店等) 駐車場、木製デッキ																																																								
	実施事業 の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南伊豆地域の歴史、文化及び地場産品等の紹介、来遊客への各種情報提供、各種イベント会場としての活用等を通じ、市民と来遊客の交流の場を提供。</li> <li>・道の駅として道路利用者に快適な休憩と多様で質の高いサービスを提供。</li> <li>・下田市史編纂室、収蔵庫等を配置し、貴重な歴史資料の整理研究、保存を行う。</li> </ul>																																																								
	料金体系	料金区分	1 会議室等使用料 2 駐車場使用料 (一般、大型駐車場は無料) 3 売店等使用料 4 常設展示室入館料																																																							
		主な料金	h18.10.3議決(料金改定の議決:施行日h19.4.1施行) 下記記載の料金は、現行の料金表です。 1 会議室等使用料 (1)歴史の交流館 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>午前</th> <th>午後</th> <th>全日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別展示室</td> <td>2,500円</td> <td>4,500円</td> <td>7,000円</td> </tr> <tr> <td>会議室1</td> <td>1,000円</td> <td>1,500円</td> <td>2,500円</td> </tr> <tr> <td>会議室2</td> <td>1,500円</td> <td>2,000円</td> <td>3,500円</td> </tr> <tr> <td>会議室3</td> <td>2,000円</td> <td>3,000円</td> <td>5,000円</td> </tr> </tbody> </table> (2)海の交流館 <table border="1"> <thead> <tr> <th>市民ギャラリー</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民ギャラリー1</td> <td>1,000円</td> <td>1,500円</td> <td>2,500円</td> </tr> <tr> <td>市民ギャラリー2</td> <td>1,000円</td> <td>1,500円</td> <td>2,500円</td> </tr> <tr> <td>市民ギャラリー3</td> <td>1,000円</td> <td>1,500円</td> <td>2,500円</td> </tr> </tbody> </table> 2 駐車場使用料 無料 売店等使用者駐車場 5,000円(1区画1ヶ月) 3 売店等使用料 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>66m<sup>2</sup>まで</th> <th>66m<sup>2</sup>超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)販売使用 月額</td> <td>3,000円/m<sup>2</sup></td> <td>1,500円/m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>(2)事務所使用 月額</td> <td>2,400円/m<sup>2</sup></td> <td>1,200円/m<sup>2</sup></td> </tr> </tbody> </table> 4 常設展示室入館料 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>一般</th> <th>団体(20人以上)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般</td> <td>500円</td> <td>400円</td> </tr> <tr> <td>小中生徒</td> <td>250円</td> <td>200円</td> </tr> </tbody> </table>			午前	午後	全日	特別展示室	2,500円	4,500円	7,000円	会議室1	1,000円	1,500円	2,500円	会議室2	1,500円	2,000円	3,500円	会議室3	2,000円	3,000円	5,000円	市民ギャラリー	1	2	3	市民ギャラリー1	1,000円	1,500円	2,500円	市民ギャラリー2	1,000円	1,500円	2,500円	市民ギャラリー3	1,000円	1,500円	2,500円		66m <sup>2</sup> まで	66m <sup>2</sup> 超	(1)販売使用 月額	3,000円/m <sup>2</sup>	1,500円/m <sup>2</sup>	(2)事務所使用 月額	2,400円/m <sup>2</sup>	1,200円/m <sup>2</sup>		一般	団体(20人以上)	一般	500円	400円	小中生徒	250円	200円
	午前	午後	全日																																																							
特別展示室	2,500円	4,500円	7,000円																																																							
会議室1	1,000円	1,500円	2,500円																																																							
会議室2	1,500円	2,000円	3,500円																																																							
会議室3	2,000円	3,000円	5,000円																																																							
市民ギャラリー	1	2	3																																																							
市民ギャラリー1	1,000円	1,500円	2,500円																																																							
市民ギャラリー2	1,000円	1,500円	2,500円																																																							
市民ギャラリー3	1,000円	1,500円	2,500円																																																							
	66m <sup>2</sup> まで	66m <sup>2</sup> 超																																																								
(1)販売使用 月額	3,000円/m <sup>2</sup>	1,500円/m <sup>2</sup>																																																								
(2)事務所使用 月額	2,400円/m <sup>2</sup>	1,200円/m <sup>2</sup>																																																								
	一般	団体(20人以上)																																																								
一般	500円	400円																																																								
小中生徒	250円	200円																																																								

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市外ヶ岡交流拠点施設 (道の駅「開国下田みなと」)	番号	15
--------	----------	--------------------------------	----	----

8 施設の概要	料金体系	減免内容	h18.10.3 議決(料金改定の議決:施行日 h19.4.1 施行) 下記記載の減免規定は、現行の減免規定です。 h18.6.28 議決(相互利用:河津町・h18.9.1 施行)  (使用料の減免) <b>第8条</b> 市長は、特に必要があると認めるときは、会議室等使用料を減免することができる。 2 前項に規定する会議室等使用料の減免は、次に掲げるとおりとする。 (1) 市、南伊豆町若しくは河津町が使用するとき、又は市内、南伊豆町内若しくは河津町内の保育所、幼稚園若しくは小中学校(以下「学校等」という。)の主催で、園児、児童、生徒(以下「生徒等」という。)の教育のために使用するとき。全額免除 (2) 国の機関、地方公共団体若しくは公立小中学校、公立高等学校又は公共的団体が自ら使用する場合で、その目的が公益及び教育のために使用するとき。5割の減額 (3) その他特に市長が必要と認めるとき。5割の減額  (入館料の減免) <b>第9条</b> 市長は、特に必要があると認めるときは、入館料を減免することができる。 2 前項に規定する入館料の減免は、次に掲げるとおりとする。 (1) 学校等の主催で、生徒等及びその引率者が、生徒等の教育のために入館するとき。全額免除 (2) 公立小中学校及び公立高等学校の主催で、生徒及びその引率者が、生徒の教育のために入館するとき。5割の減額 (3) その他特に市長が必要と認めるとき。5割以下の減額		
			利用料金制度	有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
	施設運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営			
		指定管理者制度	指定管理者		
直接従事職員	下田市職員数 1名 臨時職員 9名(事務室3名、案内清掃4名、駐車場屋外管理2名)				
9 市内の類似施設	下田市所有	なし			
	民間所有	下田開国博物館 相違点:幕末時の米国・ロシアとの開国関係の資料を中心とした資料館 開国下田みなとは、下田の美しい自然、歴史を映像や模型で紹介している。			
10 取得費等の情報 (単位:千円)	取得費及び財源内訳(千円)		平成18年度末残高(千円)		(備考) 事業費は平成9年度~平成13年度のリープロ分を対象  減価償却の方法 5年経過 ・定額法 ・残存価格1円 ・新設翌年度から償却 ・建物50年 ・h12.8~h62.7
	土地取得費	198,215			
	建物取得費	2,560,950	建物減価償却後残高	1,732,920	
	建築本体	1,501,500	鉄骨鉄筋事務所 50年	1,301,300	
	展示設備	169,000	映像関係 5年	0	
		230,000	その他展示物 15年	128,800	
	電気設備	231,000	15年	129,360	
	機械設備	309,750	15年	173,460	
	実施設計・監理	119,700			
	財源内訳	3,110,210			
	県支出金	289,400			
市債	2,799,100	市債残高(元金) 市実質負担予定額18以降			
一般財源	21,710	(基金含む)			
物品(30万円以上)		物品減価償却後残高			
減価償却費等	年間償却額の算出 建築本体 1,501,500,000円×0.02(50年)=30,030,000円/年(h12.8~h62.7) 展示設備(映像機器) 169,000,000円×0.2(5年)=33,800,000円/年(h12.8~h17.7) 展示設備(その他) 230,000,000円×0.066(15年)=15,180,000円/年(h12.8~h27.7) 電気設備 231,000,000円×0.066(15年)=15,246,000円/年(h12.8~h27.7) 機械設備 309,750,000円×0.066(15年)=20,443,500円/年(h12.8~h27.7)				

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市外ヶ岡交流拠点施設 (道の駅「開国下田みなと」)	番号	15
--------	----------	--------------------------------	----	----

11 年間経費 等推移 (単位:円)	区 分		H16 年度決算	H17 年度決算	H18 年度決算	H19 年度予算	
	収入	施設使用料	1,553,500	1,856,600	1,948,250	0	
		展示室入館料	2,061,260	1,867,730	2,141,520	0	
		駐車場使用料	2,875,000	2,855,000	2,640,000	0	
		一時使用料	11,430,647	11,959,726	11,664,915	110,000	
		その他収入	193,870	396,820	617,560	0	
	収入合計		18,114,277	18,935,876	19,012,245	110,000	
	支出	2 節 給料	4,715,400	4,840,200	4,438,800	0	
		3 節 職員手当等	2,664,563	2,616,746	2,282,692	0	
		4 節 共済費	943,634	988,798	999,416	0	
		7 節 賃金	17,574,486	17,581,132	13,985,011	0	
		9 節 旅費	0	4,000	4,000	0	
		11 節 需用費	14,121,994	11,474,072	12,177,847	777,000	
		12 節 役務費	829,850	831,418	1,014,740	116,000	
		13 節 委託料	5,536,668	4,791,292	3,084,139	18,504,000	
		14 節 使用料及び 賃借料	359,653	278,725	259,625	8,000	
		15 節 工事請負費	0	0	0	0	
		18 節 備品購入費	62,475	0	0	0	
		19 節 負担金補助 及び交付金	140,000	154,000	154,000	0	
		27 節 公課費	8,800	8,800	8,800	0	
		支出合計		46,957,523	43,569,183	38,409,070	19,405,000
	(収入 - 支出)		28,843,246	24,633,307	19,396,825	19,295,000	
	減価償却費(建物取得費分)		114,699,500	92,166,167	80,899,500	80,899,500	
	市債利子		44,265,000	39,955,000	35,190,080	24,633,728	
	下田市負担年間総経費		187,807,746	156,754,474	135,486,405	124,828,228	
	備 考						
	12 施設利用 状況等の推移	利用状況	利用区分	H16 年度決算	H17 年度決算	H18 年度決算	H19 年度
			利用者数	常設展示室	7,825 人	6,365 人	7,307 人
特別展示室				20,072 人	13,363 人	13,928 人	人
市民ギャラリー				15,874 人	13,700 人	13,250 人	人
会議室				10,476 人	11,272 人	10,470 人	人
その他				341,984 人	337,667 人	357,336 人	人
計		396,231 人	382,367 人	402,291 人	人		
参考: 利用単位当 たり市負担額		473.98 円	409.95 円	336.78 円	円		
開場期間		休館日 12月31日					
使用時間		午前9時から午後5時分まで					
13 利用者 満足度調査	実施の有無	☑ 有 無		調査結果	トイレの清掃状況、従業員の対応等についての満足度は高い。立寄理由は、トイレ休憩 22、食事 18、買物 18、情報収集 17 となっている。		
	直近の実施時期	平成 18 年 4 月 ~					
	調査手法	アンケート調査					
	調査数	72 (内有効 57)					

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市外ヶ岡交流拠点施設 (道の駅「開国下田みなと」)	番号	15
--------	----------	--------------------------------	----	----

## 業績評価

### 1 目標達成度

目標達成度	区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
	入館料の目標値	円	3,000,000	3,000,000	3,000,000	
	"の実績	円	2,061,260	1,867,730	2,141,520	
	目標達成度	%	64.91	68.70	71.38	
選択した指標	成果指標					
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の代替指標					
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由					
	<p>本施設は、下記の目的で設置されているが、端的に表す成果指標がないため代替指標を用いる。  下田市の歴史や文化の調査、研究、学習活動等を通じ、郷土を担う人材を育成する。  地域固有の資源を活用して豊かな地域づくりを図る。  代替指標 常設展示場の入館料の、過去4年の最大値を目標値とする。(H13年度300万円)</p>					
指標設定の考え方	区分	指標名	指標の考え方			
	成果指標					
	代替指標	常設展示室入館料				

(参考)

活動指標(施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標)

活動指標			区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
活動指標	目標指標	会議室等の利用率	目標値	日	1,783	1,783	1,783	1,783
			実績値	日	820	793		
			達成度	%	45.98	44.47		
	目標指標の考え方	<p>会議室等の利用向上を検討するために、その利用率を指標として設定する。なお、利用率については日を用いて算定する。目標値は稼働可能日数の70%とする。(自主展示等の日数は除く)  目標値の算定: 364日(年間開館日数) × 7室 × 70% = 1,783日</p>						
活動指標	目標指標	特別展示室入場者数	目標値	人	25,000	25,000	25,000	25,000
			実績値	人	20,072	13,363	13,928	
			達成度	%	80.28	53.45	55.71	
	目標指標の考え方	<p>特別展示室は、当施設の特徴的施設であり、多目的な活用が求められるため、特別展示への入館者数を指標として設定する。  目標値算定: 過去の最大値である平成16年度入場者数の25%アップを目標数値とする。25,000人</p>						
活動指標	目標指導	レジ打込回数	目標値	回	338,715	338,715	338,715	338,715
			実績値	回	338,715	331,867	351,067	
			達成度	%	100	97.97	103.65	
	目標指標の考え方	<p>下田の歴史の楽しいまちの話題、新鮮な食事とお買い物の時間を提供する場所を図る指標として施設に出店している出店者のレジ打込回数を指標として設定する。  目標値算定: 過去最高の回数を目標数値とする。</p>						

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市外ヶ岡交流拠点施設 (道の駅「開国下田みなと」)	番号	15
--------	----------	--------------------------------	----	----

## 2 効率性

効率性	区分	説明	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度 予算
	施設の総利用者数等		人	396,231	382,367	402,291	
	年間経費	施設の事業費・運営費および人件費の合計額	円	46,957,523	43,569,183	38,409,070	
	利用単位当たり経費	÷	円/人	118.51	113.94	95.48	
総利用者数等の考え方 施設の総利用者数等について用いた指標について記載してください。	展示室入館者、会議室等使用者等の実数及び売店レジ打ち込み回数を集計し、総利用者としていない。なお、トイレ利用等の休憩のみの利用者は集計されていない。	備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。		平成15年度経費は、看板設置(3,367千円)工事請負費(1,465千円)を含む。平成17年度経費は、雷災害復旧分(4,198千円:保険適用)を除いた数値。			

その他の指標			区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
目標指数	目標指数	光熱水費	目標値	千円	9,787	9,787	9,787	
			実績値	千円	10,920	9,436	9,594	
			達成度	%	89.62%	103.71%	102.02%	
	目標指数の考え方	電気・ガス・水道の料金を節約することで効率性を計る。 目標値算定：H15の料金の90%とする。						
目標指数	目標指数	消耗品費	目標値	千円	805	805	805	
			実績値	千円	867	672	698	
			達成度	%	92.84%	119.79%	115.33%	
	目標指数の考え方	消耗品費を節約することで効率性を計る。 目標値算定：H15の料金の90%とする。						
目標指数	目標指数	委託料(施設管理分)	目標値	千円	9,196	9,196	9,196	
			実績値	千円	5,536	4,791	3,084	
			達成度	%	166.11%	191.94%	298.18%	
	目標指数の考え方	委託料を節約することで効率性を計る。 目標値算定：H15の料金の90%とする。H18目標値は予算額とする。						

受益者負担の適正性	区分	説明	単位	H16年度	H17年度	H18年度
	使用料原価	1㎡1時間当たりの原価	円	3.2円	3.0円	
	稼働割原価率	年間経費を年間収入で賄えない比率	%	260%	230%	
	1㎡1時間適正使用料	×	円	8.32円	6.9円	
	現行1㎡1時間使用料の平均	特別展示室、会議室、ギャラリーの平均値	%	7.56円		
	適正化計画	特別展示室、会議室、ギャラリー使用料見直し	1㎡1時間使用料の平均を8.1円に見直し予定(平成19年4月～)			

平成19年度	施設名（愛称名）	下田市外ヶ岡交流拠点施設 （道の駅「開国下田みなと」）	番号	15
--------	----------	--------------------------------	----	----

## 施設の現状分析

判断視点項目		施設の状況													
施設方向性の判断視点	施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	概ね設置目的に沿った利用がされている。 3階収蔵庫の保管資料の整理、特別展示室の自主企画事業が思うように実施できない状況。												
		住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南伊豆地域の歴史、文化及び地場産品等の紹介、来遊客への各種情報提供、各種イベント会場としての活用等を通じ、市民と来遊客の交流の場を提供。</li> <li>・道の駅として道路利用者に快適な休憩と多様で質の高いサービスを提供。</li> <li>・下田市史編纂室、収蔵庫等を配置し、貴重な歴史資料の整理研究、保存を行う。</li> </ul>												
		将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めていけるか	施設利用者数が年間40万人。教育旅行等も町歩き拠点として利用している。情報を一元化し発信機能を高めることができれば、地域のゲートウェイとして将来性のある施設である。												
	施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画は怎么样了なっているのか	開設6年目ということもあり、修繕計画は作成されていない。10年目以降具体的計画を策定する必要がある。今後は、施設改修のための基金等を設置し、計画的に修繕できる財政的基盤を整える必要がある。												
		施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	運営委員会、道の駅推進会議等を開催してきた経過がある、現在はアンケート等により利用者の生の声を聴いている。												
	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	食事処、売店等は一部競合。常設展示室は、主に下田の通史を扱っており、競合は少ない。情報発信機能は、施設内の観光協会と競合している。												
		民間においても十分可能な施設なのか	市史編纂室による歴史の調査研究、資料保管、伊豆文庫の管理など民間の管理にそぐわない分野も多い。常設展示室には、実物の貸与品等も展示され、テナントも公共的団体が入居しており、道の駅としての公共性も考慮すると民間の管理にはそぐわない。												
	使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較はどうか	平成17年度決算見込で一般財源24,633千円、利用者数は、382,367人ですので、1人当たり64.4円の経費となる。												
		同種施設との比較、近隣施設との比較はどうか （平成17年度実績）	<table border="0"> <tr> <td>了仙寺宝物館</td> <td>85,464人</td> </tr> <tr> <td>豆州下田郷土資料館</td> <td>55,400人</td> </tr> <tr> <td>上原仏教美術館</td> <td>10,400人</td> </tr> <tr> <td>道の駅天城越え</td> <td>17,622人（博物館）</td> </tr> <tr> <td>道の駅花の三聖苑</td> <td>63,908人（食事・湯）</td> </tr> <tr> <td>道の駅伊東リリウツ</td> <td>2,273,900人（全体）</td> </tr> </table>	了仙寺宝物館	85,464人	豆州下田郷土資料館	55,400人	上原仏教美術館	10,400人	道の駅天城越え	17,622人（博物館）	道の駅花の三聖苑	63,908人（食事・湯）	道の駅伊東リリウツ	2,273,900人（全体）
		了仙寺宝物館	85,464人												
	豆州下田郷土資料館	55,400人													
	上原仏教美術館	10,400人													
道の駅天城越え	17,622人（博物館）														
道の駅花の三聖苑	63,908人（食事・湯）														
道の駅伊東リリウツ	2,273,900人（全体）														
計画上の利用者数と実際の利用者数の違いが怎么样了なっているのか	利用客数100万人を目標 推進計画策定時点（平成8年）の過去4年間の平均年間観光入込客数約550万人の2割														

平成19年度

施設名(愛称名) 下田市外ヶ岡交流拠点施設  
(道の駅「開国下田みなと」)

番号 15

行政規模からの判断視点			施設の耐用年数は何年有るのか	鉄骨鉄筋コンクリート造 店舗 39年 事務所 50年
			施設の今後の維持経費の算定はどうか	通常の維持管理経費 年間経費 約42,000千円 年間歳入 約20,000千円 今後、ハーバーミュージアム展示設備、機械設備、建物等の修繕費の増加が予想される。
		施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	通常の維持管理経費は、妥当であるが、大規模な施設改修等が必要となった場合は、行政経営の圧迫が予想される。
			現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	施設目的、事業内容から現行の直営方式が妥当であるが、現体制では施設の有効活用を図ることは困難である。今後は、通常の維持管理費を削減し、施設の一層の有効活用を図ることができる管理運営手法を検討する必要がある。
		地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しはされているのか	特にされていない。
		施設の統廃合が可能な施設はないのか	施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか	なし。
			老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか	用途変更等を検討し、継続していくことが必要と思われる。
			地域、民間に譲渡できないのか	・市史編纂室、収蔵庫、ライブラリー等が設置されており困難と思われる。 ・県交付金(7億円)、地域総合整備事業債活用のため、国、県への手続きが必要。
			施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	代替可能な施設は無く、統廃合は不可能。



平成19年度	施設名(愛称名)	下田市外ヶ岡交流拠点施設 (道の駅「開国下田みなと」)	番号	15
--------	----------	--------------------------------	----	----

## 見直しの方策

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	本施設は、複合施設であり、郷土史研究、資料保存、通史展示等の行政が関与しなければならない機能が配置されている。
	受益者負担の妥当性	60㎡以上の会議室等に係る使用料は、検討する必要がある。 特別展示室(163.1㎡) 改正案 1,100円/時間 稼働割1,350円 会議室3(123.1㎡) 改正案 800円/時間 稼働割1,000円
	実施主体の妥当性	設置目的1: 下田市の歴史や文化の調査、研究、学習活動等を通じ、郷土を担う人材の育成・・・下田市事業 設置目的2: 地域固有の資源を活用した豊かな地域づくり・・・公共的団体可 実施事業 1 南伊豆地域の歴史、文化の紹介・・・公共的団体可 2 地場産品等の紹介・・・民間可 3 来遊客への各種情報提供・・・公共的団体可 4 市民と来遊客が交流する場を提供・・・民間可 5 道の駅として道路利用者に快適な休憩と多様で質の高いサービスの提供・・・設置者は下田市、管理運営は民間でも可 6 下田市史編纂室、収蔵庫等を配置し、貴重な歴史資料の整理研究、保存・・・下田市教育委員会
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	施設をより効率的に運用し、長期的に安定したサービスを提供するためには、施設目的と合致した活動をしている公共的団体を指定管理者とすることも検討する必要がある。
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	入場者実数 50万人が当面の目標 利用者向上策が必要な施設(利用率は17年度数値・364日営業として算出) 会議室・・・利用率35% 定期的利用者の開拓 市民ギャラリー・・・利用率27%(ギャラリー1・・・9.7%、ギャラリー2 70%、ギャラリー3 1.7%) ギャラリーは本来の目的としての利用が少ない。 ギャラリー2は体験事業を誘致し、利用率アップを図った。 特別展示室・・・利用率31%・・・定期的利用者の開拓 ハーバーミュージアム・・・団体誘致対策、市内宿泊施設への誘客依頼等
	執行方法の見直しなど効率化のための目標及び方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験事業主催者等の誘致は、利用率アップに効果的。</li> <li>特別展示室の利用は、経費が多くなるため注意が必要。</li> <li>テレビ、ラジオ番組等の誘致による宣伝は効果が大きい。</li> <li>施設目的と合致した活動をしている団体等を指定管理者とし、施設全体の管理運営の効率化を図ることが必要。</li> </ul>
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	平成19年4月～ 会議室等使用料、減免規定、売店使用料減額規定の見直しを実施予定。ただし、60㎡以上の会議室等に係る使用料は、市内類似施設との均衡を図りつつ、継続して検討する必要がある。
アンケート調査等	来場者アンケート調査等の結果	平成18年4月～実施中 4月～7月 回答数72件(有効回答57件) トイレの清掃状況、従業員の対応等についての満足度は高い。 立寄理由は、トイレ休憩22、食事18、買物18、情報収集17となっている。
サービス面等	サービスの迅速性や利便性など	駐車場の無料化、大型駐車場へのトイレ設置等により来場への利便性は高まった。利便性を向上するためには、敷地内の施設案内表示を工夫する必要がある。来場者増による管理費の増加も課題と思われる。
	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	情報提供を一元化する必要がある。1階観光協会とエントランスの機能は類似しており、宿泊情報からイベント情報、体験情報等の質を高め、同一個所で提供できるよう改善が必要。

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市外ヶ岡交流拠点施設 (道の駅「開国下田みなと」)	番号	15
--------	----------	--------------------------------	----	----

## 平成18年度事業内容及び見直し事項

事業内容	見直し事項等
ふれあい体験事業の実施	平成16年度に募集した体験事業主催者による各種体験事業を実施した。また、各主催者と協議し、実施場所をインタース及び利用率の低い市民ギャラリーで行い利用率の向上に努めた。
情報発信事業(下田観光ふれあいデスクの新設)	多様化するニーズに対応するため、関係機関の協力を得て各種情報を収集するとともに、各種の個別問い合わせに提案型の相談窓口として対応した。
情報発信事業(情報一元化)	体験情報を「下田の体験案内」としてまとめ、ホームページによる情報発信を開始した。また、海の自然体験の受付業務にも取り組み、情報の一元化に努めた。

## 施設懸案事項

No.	懸案事項	改修経費	備考
1	ハーバーミュージアム映像機器のリニューアル	未調査	現在メーカー修理主体
2	外壁、サッシ回りの防水処理	未調査	現在必要箇所のみ修理
3	施設外案内看板表示変更	未調査	道の駅 表示変更
4	施設内案内表示	未調査	
5	空調機・ポンプ調整、点検	調査中	平成19年度実施予定
6			
7			
8			
9			
10			

## 今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 充実 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化等による見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続等 縮小等による見直し 統廃合を進める	(具体的な内容)  ・ 情報発信機能は、充実することが必要。(ソフト事業の充実) ・ 施設管理運営については、効率化による見直しが必要。 ・ 指定管理者制度の導入、施設担当課事務所の移転 ・ 郷土史研究、資料保管、歴史紹介機能は継続